

体育・保健体育、健康、安全 WG における検討事項（案）

1. 体育・保健体育を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・ 体育・保健体育を学ぶ本質的な意義や他教科との関連性について
 - ・ 三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性など）
 - ・ 幼稚園・小学校・中学校・高等学校を通じた体育・保健体育において育成すべき資質・能力の系統性について
 - ・ 体育・保健体育において育成すべき資質・能力と指導内容との関係について
 - ・ オリンピック・パラリンピック大会を契機として育成すべき資質・能力

2. アクティブ・ラーニングの三つの視点（※）を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき体育・保健体育の指導等の改善充実の在り方について

3. 資質・能力の育成のために重視すべき体育・保健体育の評価の在り方について

4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

5. 健康・安全における資質・能力等について

※アクティブ・ラーニングの三つの視点（教育課程企画特別部会「論点整理」18ページ参照）

- i) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか
- ii) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか
- iii) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

健やかな体の育成に関する教育のイメージ（たたき台）

体育科・保健体育科

発達段階



卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする

多くの領域の学習を経験する

各種の運動の基礎を培う

【高等学校】

生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を養うとともに、健康な社会づくりに参画する態度を育てる。

- 「する、みる、支える」などの多様なスポーツとの関わり方に関する指導を充実する。
- 体育で学習したことを実生活や実社会で生かし、運動の習慣化につなげる指導を充実する。
- 中学校からの接続を踏まえ、体力や技能の違いを超えてスポーツを楽しむよう、男女共習やアダプテッド・スポーツの体験の機会を充実する。
- 主体的に運動に取り組めるよう、協同的な学びや課題解決的な学びをさらに充実する。
- 健康課題や情報を批判的に捉え、課題解決を目指して論理的に考え、意志決定・行動選択する力を育てる。
- 自他の健康の保持増進や回復のための健康な社会づくりを目指して、健康的な環境づくりに参画する活動の充実。

【中学校】

生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を養うとともに、健康の保持増進のための実践力を育成する。

- 小学校からの接続を踏まえ、競争や達成、課題解決、創造、協力などのスポーツを通じた多様な楽しさを味わえるよう、全ての領域の体験のさせ方を充実する。
- 体力や技能の違いを超えてスポーツを楽しむよう、男女共習やアダプテッド・スポーツの体験の機会を充実する
- 3年次では、自主的に運動に取り組めるよう、協同的な学びや課題解決的な学びをより充実する。
- 健康課題を把握し、適切な情報を選択、活用し、課題解決のために自己判断や意志決定する力を育てる。
- 自他の健康の保持増進や回復のためにコミュニケーションを図ったり、主張したりする活動の充実。

【小学校】

- 基礎的な身体能力や知識を身に付け、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。
- 運動の楽しさや喜びを味わい、児童の運動への関心や意欲を高めるとともに、仲間と仲よく運動したり、運動の課題を主体的に解決したりする力を養うなど、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。
- 身近な健康課題に関心を持ち、健康を保持増進するための情報を活用し、課題解決するとともに、自己の健康に関する取組を肯定的に捉える態度を育てる。

【幼児教育】

（教育課程部会幼児教育部会において、本部会での議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりにまで育ってほしい姿の明確化について審議）

- 体を動かす様々な活動に目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしていたり、主体的に取り組む。
- いろいろな遊びの場面に応じて、体の諸部位を十分に動かす。
- 健康な生活リズムを通して、自分の健康に対する関心や安全についての構えを身に付け、自分の体を大切にすることを大切にする気持ちを持つ。

指定校事業での検証、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

個人及び社会生活の健康についてより総合的に理解する

個人の健康についてより科学的に理解する

身近な生活の健康について理解する

【たたき台】資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して育成すべき資質・能力の整理イメージ（体育科・保健体育科） Ver.5

平成28年3月8日
 体育・保健体育、健康、安全WG
 資料3

小学校 体育	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方や等 (知っていること、できることをどう使うか)</p>	<p>学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</p>
<p>運動領域</p>	<p>各種の運動が有する特性や魅力に応じた 技能や知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の運動を行うための技能 ・ 各種の運動の行い方についての基本的な知識 	<p>自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだり工夫したりする思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に適した課題に気付く力 ・ 自己の課題を解決するための活動を選んだり、運動の行い方を工夫したりする力 ・ 思考し判断したことを、言葉や動作等で他者に伝える力 	<p>運動の楽しさや喜びを味わい、明るく楽しい生活を営むための態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで学習活動に取り組む ・ 約束を守り、公正に行動する ・ 友達と協力して活動する ・ 自分の役割を果たそうとする ・ 安全に気を配る
<p>保健領域</p>	<p>身近な生活における健康・安全についての基礎的な知識や技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康な生活、発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防に関する基礎的な知識 ・ 不安や悩みの対処やけがの手当に関する基礎的な技能 	<p>身近な健康課題に気付き、健康を保持増進するために情報を活用し、課題解決する力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な健康課題に気付く力 ・ 健康課題に関する情報を集める力 ・ 健康課題の解決方法を予想し考える力 ・ 学んだことを自己の生活に生かす力 ・ 学んだことや健康に関する自分の考えを伝える力 	<p>健康の大切さを認識し、健康で楽しく明るい生活を営む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の健康に関心をもつ ・ 自己の健康の保持増進のために協力して活動する ・ 自他の心身の発育・発達などを肯定的に捉える

【たたき台】資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して育成すべき資質・能力の整理イメージ（体育科・保健体育科）Ver.5

<p>中学校 保健体育</p>	<p>個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)</p>	<p>思考力・判断力・表現力等 <small>教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること、できることをどう使うか)</small></p>	<p>学びに向かう力、人間性等 <small>情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</small></p>
<p>体育分野</p>	<p>運動の特性に応じた行い方や運動の一般原則などの知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方の知識 ・運動の特性や成り立ちの知識 ・体力の要素や高め方の知識 ・運動観察の方法の知識 ・伝統的な考え方の知識 など <p>スポーツに関する科学的知識や文法的意義等の概要</p> <p>小学校段階の学習を踏まえ、各種の運動が有する特性や魅力に応じた技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識を踏まえて、基本的な運動の技能として発揮したり、身体表現したりする 	<p>自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題に応じた運動の行い方の改善すべきポイントを見付ける力 ・運動実践の場面で、自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶ力 ・運動実践の場面で、健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な活動を選ぶ力 ・状況に応じた自己や仲間の役割を見付ける力 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切ななかわり方を見付ける力 ・運動を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付ける力 ・思考・判断したことを、根拠を示しながら相手に伝える力 など 	<p>生涯にわたって運動やスポーツに親しむとともに、明るく豊かな生活を営む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的に学習活動に取り組む ・運動における競争や協同の場面を通して、多様性を認識し、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を持つ ・相手を尊重し伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・運動実践の場面で、健康・安全を確保する など
<p>保健分野</p>	<p>個人生活における健康・安全についての科学的な知識や技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な健康課題を踏まえた心身の機能の発達と心の健康、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と疾病の予防に関する知識 ・ストレス対処、応急手当に関する基礎的な技能 	<p>健康課題を把握し、適切な情報を選択、活用し、課題解決のために適切な意思決定をする力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康課題を発見する力 ・健康情報を収集し、批判的に吟味する力 ・健康情報や知識を活用して多様な解決方法を考える力 ・多様な解決方法の中から、適切な方法を選択・決定し、自己の生活に生かす力 ・自己の健康の考えや解決策を対象に応じて表現する力 	<p>健康の保持増進のための実践力を育成し、明るく豊かな生活を営む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康に関心をもつ ・自己の健康に関する取組のよさを認める ・自己の健康の保持増進や回復のために協力して活動する ・自己の健康の保持増進に主体的に取り組む

【たたき台】資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して育成すべき資質・能力の整理イメージ（体育科・保健体育科）Ver.5

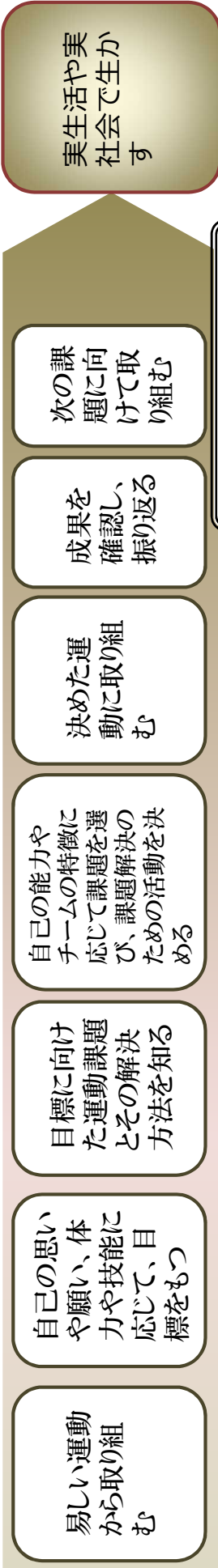
高等学校 保健体育	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 <small>教科等の本質に根ざした見方や考え方や (知っていること、できることをどう使うか)</small>	学びに向かう力、人間性等 <small>情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)</small>
科目体育	運動の特性に応じた行い方や運動の一般原則などの知識 ・技術の名称や行い方の知識 ・体力の高め方の知識 ・課題解決の方法の知識 ・伝統的な考え方の知識 など ・競技会、発表会の仕方や審判の方 法等の知識 スポーツに関する科学的知識や文化的意義等 各種の運動が有する特性や魅力に応じた技能 ・知識を踏まえて、運動の技能として発揮したり、身体表現したりする	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組み方を工夫できる思考力・判断力・表現力 ・自己や仲間の挑戦する運動課題を設定する力 ・技術的な課題や有効な練習方法について指摘する力 ・運動実践の場面で、課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直す力 ・運動実践の場面で、自己や仲間の危険を予測し回避するための活動の仕方を選ぶ力 ・状況に応じた自己や仲間の役割を設定する力 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付ける力 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむための自己に適したかかわり方を見付ける力 ・思考・判断したことを、根拠を示したり、他者に配慮したりして相手に伝える力 など	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、明るく豊かで活 力ある生活を営む態度 ・運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組む態度 ・運動の合理的、計画的な実践を通して、多様性を尊重し、公正に取り組み、仲間と主体的にかかわり協力する、役割に責任をもって取り組む、意思決定などに参画するなどの意欲を持つ ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・運動実践の場面で、健康・安全を確保する など
科目保健	個人及び社会生活における健康・安全についての総合的な知識や技能 ・現代社会に生じた健康課題の解決に役立つ知識、健康な生活と疾病の予防に関する知識 ・ライフステージにおける健康を踏まえた生涯を通じる健康の知識 ・社会生活と健康に関する知識 ・社会資源の活用、応急手当に関する技能	健康課題の解決を目指して、情報を批判的に捉えたり、論理的に考えたりして、適切に意思決定・行動選択する力 ・社会生活に関わる健康課題を発見する力 ・社会生活に関わる健康情報を収集、分析する力 ・社会背景や置かれていた状況に応じて解決方法を考える力 ・解決方法を活用し、健康な社会づくりを目指して適切に意思決定・行動選択する力 ・健康な社会づくりに必要な知識や技能、健康の考えや解決策を社会へ伝える力	健康の保持増進のための実践力を育成し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度 ・社会生活に関わる健康づくりに関心をもつ ・社会生活において健康・安全を優先する ・健康の保持増進や回復のための社会づくりに参画する

体育科・保健体育科における課題発見・解決の学びのプロセスのイメージ（体育）案

平成28年3月8日
体育・保健体育、健康、安全WG
資料5

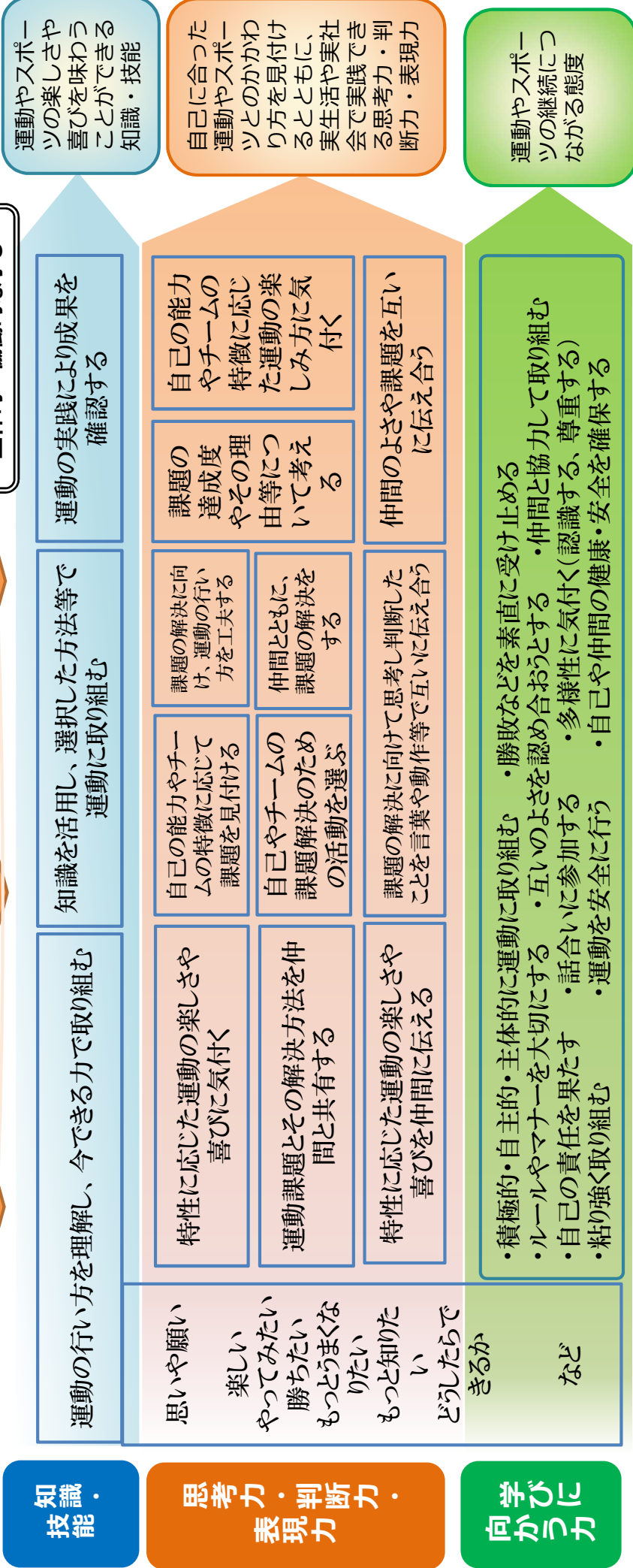
見方・考え方：運動の特性や体力の要素を捉え、運動・スポーツの楽しさや喜びを見出すとともに、公正、協力、責任、参画、健康・安全といった視点を踏まえながら、運動・スポーツとの豊かな関わり方について考察すること

個や集団の学びのプロセス例



多様な授業の展開

学習の広がりや深まり 主体的・協働的な学び



運動やスポーツの楽しさや喜びを味わうことができる
知識・技能

自己に合った運動やスポーツのなかかわり方を見付けるとともに、実生活や実社会で実践できる
思考力・判断力・表現力

運動やスポーツの継続につながる態度

運動の実践により成果を確認する

課題の達成度やその理由等について考える
仲間のよさや課題を互いに伝え合う

自己の能力やチームの特性に応じた運動の楽しさや仲間への気配り

知識を活用し、選択した方法等で運動に取り組む

課題の解決に向けて、運動の行い方を工夫する
仲間とともに、課題の解決をする

自己の能力やチームの特性に応じて課題を見付ける
自己やチームの課題解決のための活動を選ぶ

運動の行い方を理解し、今できる力で取り組む

特性に応じた運動の楽しさや喜びに気付く
運動課題とその解決方法を仲間と共有する
特性に応じた運動の楽しさや喜びを仲間伝える

思いや願い、楽しいやってみたい、勝ちたい、もつとまぐなりたい、もつと知りたいたい、どうしたらできるかなど

知識・技能

思考力・判断力・表現力

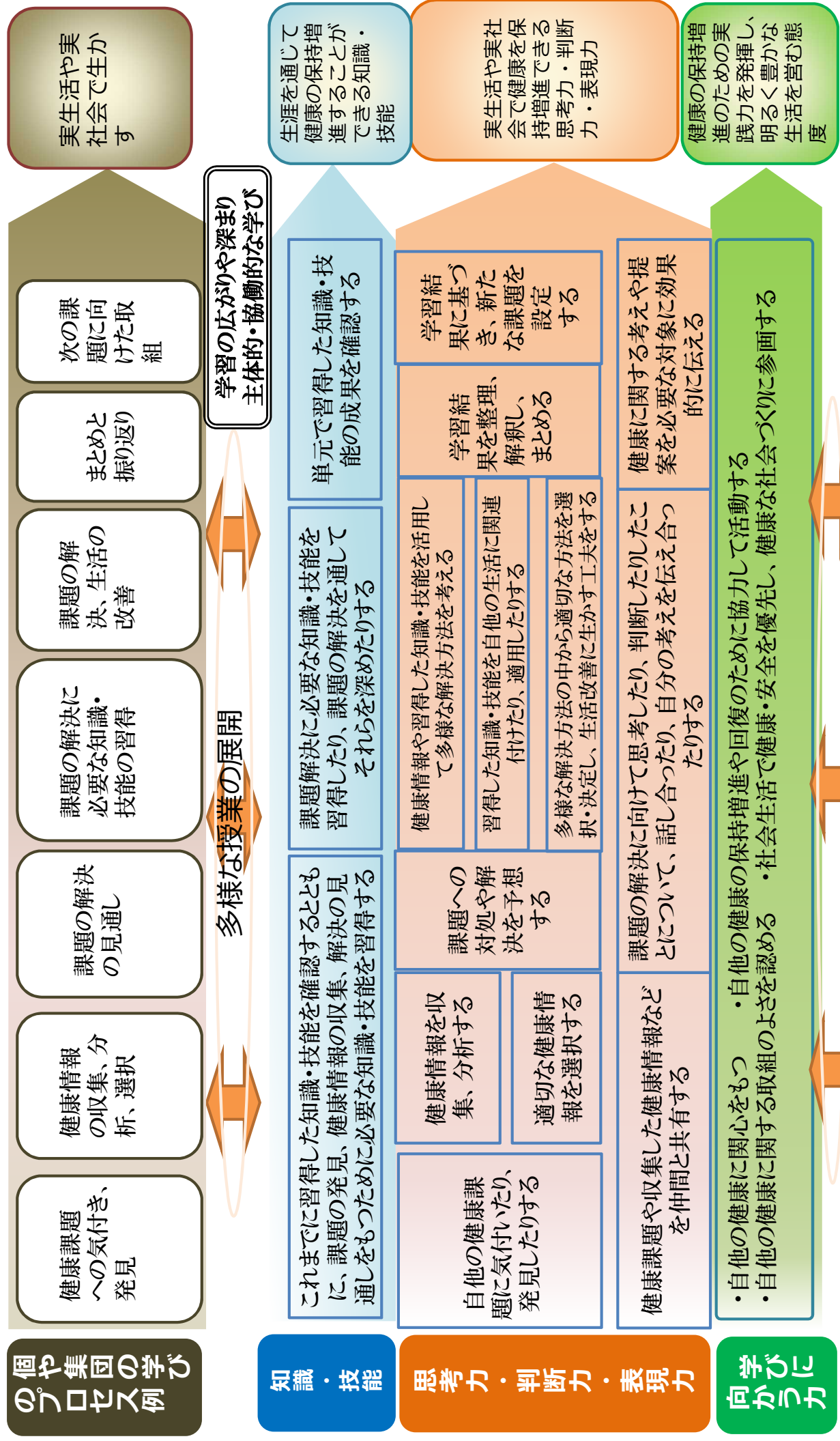
学びに向かう力

指導上配慮が必要な内容や個々の学びのプロセスに対応した個別指導

※課題発見・解決の学びのプロセスは例示であり、これに限定されるものではない。また、必ずしも順序性を示したものでなく、一方向の流れではない。

体育科・保健体育科における課題発見・解決の学びのプロセスのイメージ（保健）案

健康的な見方・考え方：健康や安全の視点から情報を捉え、健康の保持増進と回復を目指して疾病等のリスクを減らしたり、自分に合った対処法を見付けたり、生活の質を高めたりするために考察すること



指導上配慮が必要な内容や個々の学びのプロセスに対応した個別指導

※課題発見・解決の学びのプロセスは例示であり、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では学びのプロセスの一部を扱うこともある。

基本的な 考え方が

- ・特定の型や、方式化された授業の方法や技術ではなく、授業改善の考え方として捉える。
- ・子供の学びへの積極的関与と深い理解を促すような指導や学習環境を設定することにより、子供たちの自信を育み、必要な資質・能力を身に付けていくことができるようにする。
- ・具体的な学習プロセスは限りなく存在し得るものであり、教員一人一人が、子供たちの発達の段階や発達の特異性、子供の学習スタイルの多様性や教育的ニーズと学習内容、単元の構成や学習の場面等に応じた方法について研究を重ね、ふさわしい方法を選択しながら、工夫して実践できるようにすることが重要。

深い 学び

習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた学びの過程の実現

- ・運動やスポーツの楽しさや喜びを見出すとともに、豊かなかわり方について考える。
- ・運動の行い方を理解し、自己の能力に応じた課題を見付ける。
- ・課題の解決に向けて、習得した知識を活用して運動の行い方を工夫し、運動に取り組む。
- ・ICTの活用等により、課題の到達度を確認し、必要な知識を収集するとともに実践する。
- ・自己やチームの能力に応じた運動の楽しみ方を見付ける。
- ・知識と技能を関連付けて学習することにより、その重要性を認識し、理解を深める。

対話的な 学び

他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げる学びの過程の実現

- ・運動についての課題と、その解決方法を仲間と共有する。
- ・課題の解決に向けて、仲間の感情に配慮し、助け合ったり教え合ったりしながら運動に取り組む。
- ・仲間と認め合い、励まし合いながら運動に取り組む、運動の楽しさや喜びを味わう。
- ・言語活動の充実やICTの活用等を通して、仲間の学びを理解するとともに、運動についての自己の課題の解決に生かす。

見通しをもつて粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学びの過程の実現

- ・運動の楽しさに気付き、自ら進んで運動に取り組む。
- ・自己の目標をもち、目標の達成に向けた課題の解決に向け、意欲的に取り組む。
- ・学習の見通しをもつとともに、自己の課題の解決に向けて粘り強く運動に取り組む。
- ・ICTの活用等により、学習を振り返り、課題の修正をしたり新たな課題を設定したりする。
- ・公正、協力、責任、参画、健康・安全の大切さや意義を理解し、運動の楽しさや喜びを味わう。

基本的な 考え方が

- 特定の型や、方式化された授業の方法や技術ではなく、授業改善の考え方として捉える。
- 子供の学びへの積極的関与と深い理解を促すような指導や学習環境を設定することにより、子供たちの自信を育み、必要な資質・能力を身に付けていくことができるようにする。
- 具体的な学習プロセスは限りなく存在し得るものであり、教員一人一人が、子供たちの発達の段階や発達の特徴、子供の学習スタイルの多様性や教育的ニーズと学習内容、単元の構成や学習の場面等に応じた方法について研究を重ね、ふさわしい方法を選択しながら、工夫して実践できるようにすることが重要。

深い学び

- 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、課題発見・解決を念頭に置いた学びの過程の実現
- 健康に関する身近な生活やそれを取り巻く社会環境の状況から、健康課題に気付く。
 - ICTを活用し、健康に関する情報を収集、批判的に吟味し、健康課題の解決に役立つ情報を選択する。
 - 選択した健康情報や習得した知識や技能を活用して、疾病等のリスクを減らしたり、対処法を選択したり、生活の質を高めたりするなど健康課題の解決方法を考える。
 - 健康課題の解決方法を自他の間で比較したり、生活と関連付けたりし、適切な意思決定・行動選択に役立てる。

他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げる学びの過程の実現

- 健康課題や健康情報を仲間と共有する。
- 健康課題の解決に向けて、仲間と教え合ったり相談し合ったりしながら多様な解決方法を考える。
- 健康課題に関する意見や提案を相互に理解し、相手の立場を考えて表現し、伝え合う。
- 健康課題に関する話し合いを通して、仲間の学びや取組に対するよさを認め、自他の健康の保持増進や回復に生かす。

主体的な 学びが

見通しをもって粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学びの過程の実現

- 自他の健康や社会の健康課題に関心をもち、健康課題の解決に向けて意欲的に取り組む。
- 学習の見通しをもつとともに、健康の大切さに気付き、健康課題の解決に向けて粘り強く取り組む。
- 学習を振り返り、習得された健康に関する知識・技能や思考・判断した成果を確認する。

体育・保健体育の特性に根ざした見方・考え方のイメージ (案)

- 運動の特性や体力の要素を捉え、運動・スポーツの楽しさや喜びを見出すとともに、公正、協力、責任、参画、健康・安全といった視点を踏まえながら、運動・スポーツとの豊かな関わり方について考察すること
- 健康や安全の視点から情報を捉え、健康の保持増進と回復を目指して疾病等のリスクを減らしたり、自分に合った対処法を見付けたり、生活の質を高めたりするために考察すること

体育
保健体育

生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける検討事項

【生活科について】

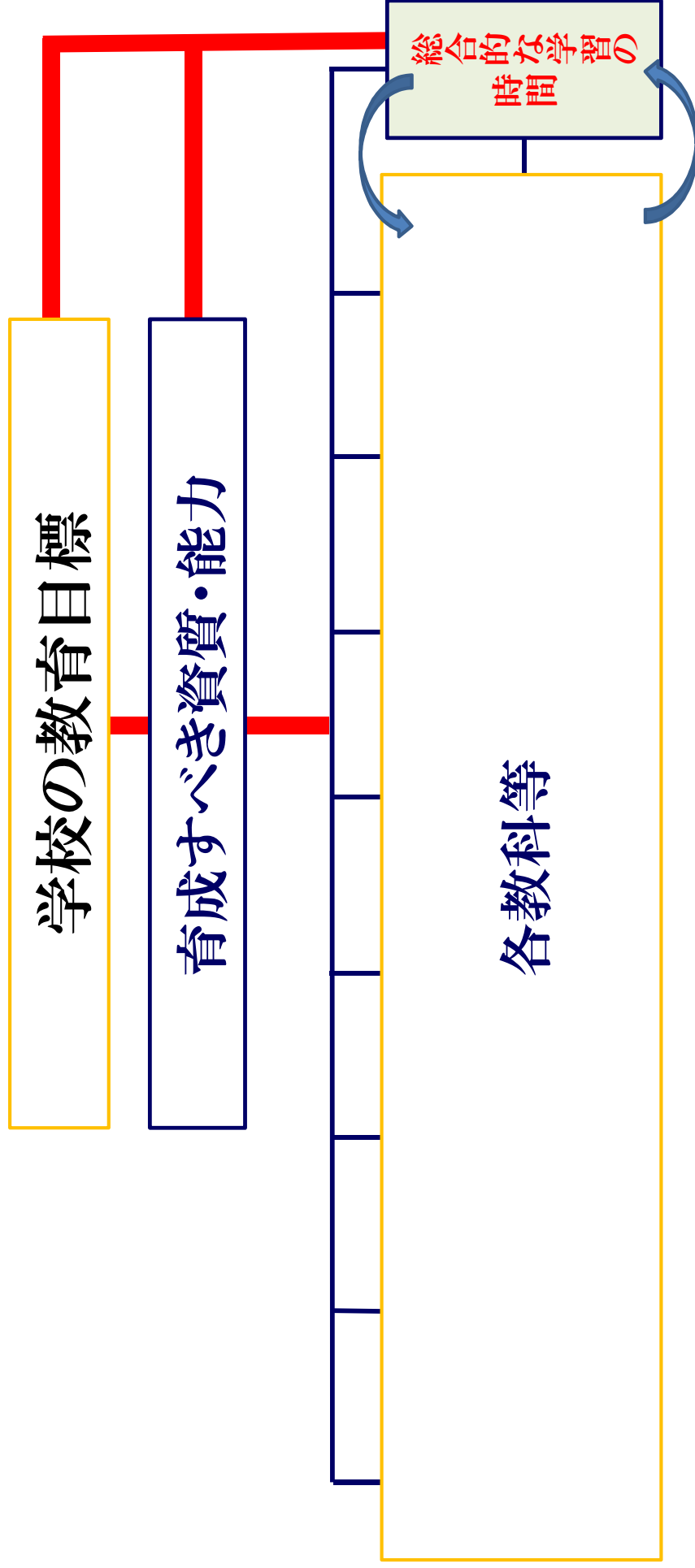
1. 「生活科」を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・ 育成すべき資質・能力の可視化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - ・ 生活科の内容の構成要素等（学年目標を構成する項目、内容構成の基本的な視点と具体的な視点、内容の構成要素と階層性、学習対象等）と、論点整理で示された育成すべき資質・能力の三つの柱との関係について
 - ・ 中学年以降の各教科等とのつながりについて
 - ・ 低学年における他教科等との関連について
2. 幼児教育との円滑な接続を図るスタートカリキュラムの中核となる教科としての位置付けについて
 - ・ カリキュラム・マネジメントの視点からスタートカリキュラムの在り方について
 - ・ 幼児教育との接続及び、他教科等との連携の在り方について
 - ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と生活科において育成する資質・能力との関連性について

【総合的な学習の時間について】

1. 「総合的な学習の時間」を通じて育成すべき資質・能力の明確化について
 - ・ 各教科等の学習を踏まえた上で、総合的な学習の時間を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・ 発達の段階に応じた育成すべき資質・能力について
 - ・ 発達の段階に応じて身に付けるべき学び方やものの考え方の明確化について
2. 教育課程全体における「総合的な学習の時間」の意義について
 - ・ 各教科における学習で身に付けた資質・能力を相互に関連付けた教科横断的な学習を行う時間としての意義
 - ・ 各教科等単独では取り組むことの難しい現代的な課題の学習を行う時間としての意義
 - ・ 高等学校教育において、より探究的な学習活動を重視する視点からの「総合的な学習の時間」の在り方について

カリキュラム・マネジメントのイメージ

カリキュラム・マネジメントの実現



※ 総合的な学習の時間の目標は、各学校が育てたいと願う児童生徒像や育てようとする資質や能力及び態度などを表現したものになることが求められるため、学校の教育目標と直接的につながる。

【カリキュラム・マネジメントの三つの側面】(教育課程企画特別部会論点整理より)

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して生活科において育成すべき資質・能力の整理（素案）

平成28年3月8日
 教育課程部 社会
 生活・総合的な学習の時間
 ワーキンググループ 資料2

	個別の知識や技能の基礎 (生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使得って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)	学びに向かう力、人間性等 (どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか)
生活 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■ 具体的な活動や体験を通して獲得する、自分自身、社会事象、自然事象に関する個別的な気付き ■ 具体的な活動や体験を通して形成する、自分自身、社会事象、自然事象に関する関係的な気付き ■ 具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身体を通して関わり、対象に直接働きかける力 ■ 比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える力 ■ 試したり、工夫したり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す力 ■ 伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身近な人々や地域に関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとする態度 ■ 身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとする態度 ■ 自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとする態度

生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

平成28年3月8日
教育課程部 会
生活・総合的な学習の時間
ワーキンググループ
資料3

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

* 実際の学習活動は一体的に行われ、体験と表現が繰り返される

思考力・判断力・表現力等

- 対象に関心を持つ
- 身体全体で対象と関わる
- 自ら対象に働きかける

- 比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える
- 試したり、工夫したり、予測したり見通しを持ったりして創り出す

- 伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する
- 生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

学びに向かう力・人間性等

探究心

地域への愛着

適切な関わり

公共意識

安全意識

(主に社会との関わり)

好奇心

自然との触れ合い

感性

生命尊重

没頭

創造性

(主に自然との関わり)

意欲

自信

成長

自分らしさ

感謝

(主に自分自身)

個別の知識・技能

社会、自然に対する個別的な気付き
(例: 学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など)

社会・自然に対する関係的な気付き
(例: 空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など)

自分自身への気付き
(例: 自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など)

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能(例: 生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話ができる など)

生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

思いや願いを持つ

活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

* 実際の学習活動は一体的に行われ、体験と表現が繰り返される

うわー。きれいな花。育てて
みたいな。

葉っぱがだんだん大きくなってきたぞ。
蔓も伸びてきているぞ。

アサガオは、どんな気持ちかな。私のお世話をどう思っているのかな。

水をしっかりあげて、日の当たるところに置いておくと、大きく育ちます。毎日のお世話が大切です。私は、忘れずに毎日のお世話をすることができました。アサガオと一緒に私も大きくなりました。

カッコいいロケットだなあ。飛ばしてみたいな。作りたいな。

この輪ゴムはどうなっているのかな。高く飛ばすにはどうすればいいのかな。

なるほど、わかっただぞ。輪ゴムの巻き方や伸ばし方でロケットの飛び高さが違ってみたいだぞ。別の方法でも比べてみよう。

輪ゴムをたくさん巻くとロケットは遠くに飛びました。輪ゴムを長く伸ばしたときも遠くに飛びました。きまりがあるみたいです。がんばって作ったら、すごいロケットになりました。楽しかったので、また、やってみたいです。

町探検、楽しそうだな。早く行きたいな。

町探検に行ってきた。町の人に親切にしてもらって、とっても楽しかったよ。また、出かけたいな。

私たちの町にはいろいろなお店があるんだな。似たお店もあることが分かったよ。働いている人もたくさんいて、みんな優しくしてくれた。

みんなの地図を一つにまとめて大きな町の地図にしたら、たくさんの発見がありました。町が広いこと、たくさんの道が繋がっていることにびっくりしました。大人の人たちが、僕たちを守ってくれていることもわかりました。とっても嬉しい気持ちになりました。

平成28年3月8日
 教育課程部
 特生活・総合的な学習の時間
 ワーキンググループ
 資料4

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して
 総合的な学習の時間において育成すべき資質・能力の整理（素案）

国が定める目標及び各学校の教育目標に基づき各学校において設定

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 <small>教科等の本質に根ざした見方や考え方等</small> (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 <small>情意、態度等に関わるもの</small> (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 ○ 学ぶことの意義や価値の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題設定の力 ・ 収集分析の力 ・ 思考判断の力 ・ 表現省察の力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実社会、実生活における課題に真摯に向き合い、適切な方法で主体的・協同的に解決しようとする態度 ○ 自分の特徴を生かし、異なる意見や考えを受け入れながら、当事者意識と責任感をもって計画的に取り組もうとする態度 ○ 自分の生活の改善を継続したり、課題の解決に向けて多様な社会活動に当事者意識をもって参画したりしようとする態度 など
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題設定の力 ・ 収集分析の力 ・ 思考判断の力 ・ 表現省察の力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実社会、実生活における課題に向き合い、主体的・協同的に解決しようとする態度 ○ 自分のよさを生かし、異なる意見や考えを受け入れながら、責任をもって計画的に取り組もうとする態度 ○ 自分の生活を改善したり、課題の解決に向けて社会活動に参画したりしようとする態度 など
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する知識（及び概念） ○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して獲得する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な学習を通して身に付ける課題を解決する力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題設定の力 ・ 収集分析の力 ・ 思考判断の力 ・ 表現省察の力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実社会、実生活における課題を、力を合わせて解決しようとする態度 ○ 自分らしさを発揮し、異なる意見や考えを受け入れながら、目標に向けて取り組もうとする態度 ○ 課題の解決に向けて地域の活動に参加しようとする態度 など

教育課程全体におけるアクティブ・ラーニングの視点での学習活動を支える

探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

■ 小学校

平成28年3月8日
 教育課程部の時間
 生活・総合的な学習の時間
 ワーキンググループ
 資料5

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 問題状況の中から課題を発見し設定する ■ 解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を収集し分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 問題状況における事実や関係を把握し理解する ■ 多様な情報の中にある特徴を見付ける ■ 課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて分かちややくまとめ、表現する ■ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする
探究活動と自分自身	○ 課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする (主体性)	○ 自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組もうとする (自己理解)	○ 探究的な課題解決の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする (内面化)	
探究活動と他者や社会	○ 課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする (協同性)	○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組もうとする (他者理解)	○ 探究的な課題解決が実社会・実生活への興味・関心へとつながり、進んで地域の活動に参加しようとする (社会参画、社会貢献)	

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識(※)の獲得

※総合的な学習の時間の内容で扱う内容は各学校において定めているため、知識の具体は各学校において異なる。

概念的知識(※)の形成

課題設定のスキル

情報の収集のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け)

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

■ 中学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ■ 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を収集し、多角的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ ■ 視点を定めて多様な情報を分析する ■ 課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて論理的に表現する ■ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす
探究活動上 自身	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に誠実に向き合い、課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする (主体性) ○ 自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって計画的に取り組もうとする (自己理解) ○ 探究的な課題解決の経験を自己の成長と結び付けて考えて考えることができ、次の課題へ積極的に取り組もうとする (内面化) 			
探究活動と 他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの特徴を生かすなど、課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする (協同性) ○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを理解しようとする (他者理解) ○ 探究的な課題解決が社会の形成者としての自覚へとなつながら、積極的に社会活動へ参加しようとする (社会参画、社会貢献) 			

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

※総合的な学習の時間の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

概念的知識^(※)の形成

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的)

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係(案)

■ 高等学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な社会状況を踏まえて課題を設定する ■ 仮説を立て、それに適合した検証方法を明示した計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的に応じて臨機応変に適切な手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的、实际的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況における事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する ■ 視点を定めて多様な情報から帰納的、演えき的に考察する ■ 事実や事実間の関係を比較したり、複数の因果関係を推理したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて手際よく論理的に表現する ■ 学習の仕方や進め方を内省し、現在及び将来の学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に真摯に向き合い、より適切な課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする (主体性) ○ 自分の特徴を生かし当事者意識と責任感をもって探究活動に向き合い、計画的に着実に取り組もうとする (自己理解) ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積を課題解決への信念や自信、自己肯定へとつなげ、更に高次の課題に取り組もうとする (内面化) 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いを認め特徴を生かし合うなど、課題の解決に向けた探究活動に協同的に取り組もうとする (協同性) ○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとする (他者理解) ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積が、自己有用感や実社会・実生活に貢献しようとする態度へとつながり、社会の形成者としてよりよい社会の実現に努めようとする (社会参画、社会貢献) 			

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

※総合的な学習の時間の時間で扱う内容は各学校において定めていることなどとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

課題設定のスキル

思考のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的・構造的)

表現のスキル

概念的知識^(※)の形成

学ぶことの意義や価値の理解

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

特別活動ワーキンググループにおける検討事項

1. 特別活動を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・特別活動を学ぶ本質的な意義や他教科等との関連性について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - ・小学校、中学校、高等学校における特別活動で育成すべき資質・能力の系統性について
 - ・特別活動における学級・ホームルーム活動、児童・生徒会活動、クラブ活動、学校行事と、育成すべき資質・能力との関係について
 - ・特別活動で育成すべき資質・能力と、社会の要請（防災や社会参画など）に応じた活動内容との関係について
2. アクティブ・ラーニングの三つの視点（※）を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき特別活動の指導等の改善・充実の在り方について
3. 「社会に開かれた教育課程」を実現していく上での特別活動の意義や役割について
4. スタートカリキュラムなど、学校種間の円滑な移行を図る上での特別活動の意義や役割について
5. 小学校、中学校、高等学校の連続性を踏まえた評価の在り方について
6. 必要な支援（特別支援教育の観点を含む）や条件整備等について

※アクティブ・ラーニングの三つの視点（企画特別部会「論点整理」18ページ参照）

- i) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
- ii) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- iii) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

【望ましい集団活動を通じて】小中高共通の育みたい資質・能力を以下の三つと仮定し整理】

- ◇人間関係を形成する力
- 社会に参画する力
- 自己を生かす力

【高等学校】多様な他者と協働し、望ましい集団活動を通して…

- ◇他者の価値観や個性を受け入れ、自己も生かしながら、時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーションを図ることができるなど、自主的・実践的によりよい人間関係を築くことができる。
- ホームルーム・学校や地域・社会の問題を把握し、合意形成を図り、自己の果たすべき役割を考え、自主的・実践的に責任ある行動をとることができる。
- 自己の能力や適性、置かれている環境を受け入れて、主体的に日常生活や自己の在り方を改善することができる。
- 多様な情報を収集・整理し、興味・関心、自己の適性の把握などに基づき、将来を見通して主体的に自己の生き方を選択することができる。

【中学校】多様な他者と協働し、望ましい集団活動を通して…

- ◇自己や他者の個性を理解し、自他が安心して生活できるよう積極的にコミュニケーションを図るなど、自主的・実践的によりよい人間関係を築くことができる。
- 学級・学校や地域・社会の問題を見付け、合意形成を図って解決策を決め、自主的・実践的に取り組むことができる。
- 自己のよさや個性、置かれている環境を理解し、それを生かしつつ主体的に日常生活を改善することができる。
- 情報の収集・整理と、興味・関心、自己の適性の把握などにより、将来を見通して暫定的な自己の生き方を主体的に選択することができる。

【小学校】多様な他者と協働し、望ましい集団活動を通して…

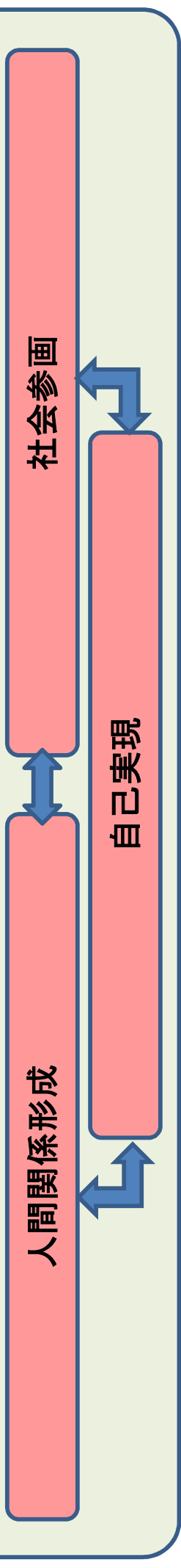
- ◇助け合ったり協力し合ったりして、相手を信頼し支え合い、自主的・実践的によりよい人間関係を築くことができる。
- 学級・学校や地域の問題に気づき、解決方法などを話し合って決め、解決のために自己の役割や責任を果たして、自主的・実践的によりよい生活をつくることができる。
- 自己の課題に気付いて生活を改善したり、自己のよさを生かして主体的に活動したりすることができる。

【幼児教育】

- （教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議）
- （自立心）
- ・生活の流れを予測したり、周りの状況を感じたりして、自分でしなければならぬことを自覚して行う。
 - ・自分のことは自分で行い、自分でできないことは教職員や友達の助けを借りて、自分で行う。
 - ・いろいろな活動や遊びにおいて自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感をもつ。
- （協同性）
- ・いろいろな友達と積極的にかかわり、友達の思いや考えなどを感じながら行動する。
 - ・相手に分かるように伝えたり、相手の気持ちを察して自分の思いの出し方を考えたり、我慢したり、我慢しながら、わかり合う。
 - ・クラスの様々な仲間とかかわりを通じて互いのよさをわかり合い、楽しみながら一緒に遊びを進めていく。
 - ・クラスみんなで共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を発揮しやり遂げる。

特別活動において育成すべき資質・能力の視点について(案)

育成すべき資質・能力の視点

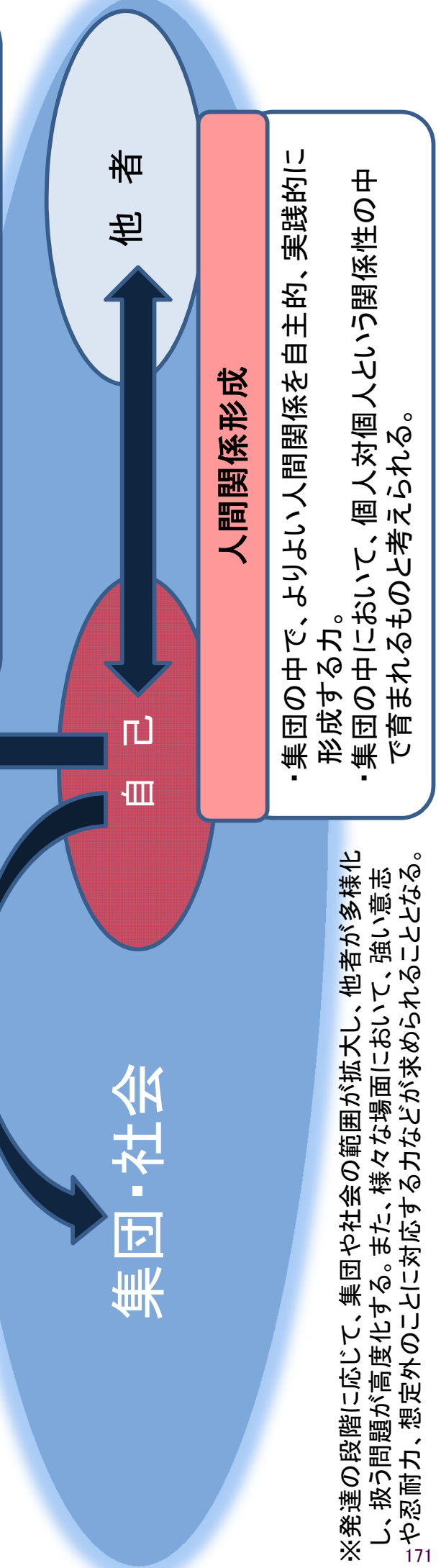


社会参画

- ・よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画する力及び諸問題を解決しようとする力。
- ・集団の中において、個人が集団へ関与する中で育まれるものと考えられる。

自己実現

- ・集団の中で、自己の生活の課題を発見しよりよく改善する力や自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力。自己の在り方生き方を考え設計する力。
- ・集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる問題を考察する中で育まれるものと考えられる。



人間関係形成

- ・集団の中で、よりよい人間関係を自主的、実践的に形成する力。
- ・集団の中において、個人対個人という関係性の中で育まれるものと考えられる。

※発達段階に応じて、集団や社会の範囲が拡大し、他者が多様化し、扱う問題が高度化する。また、様々な場面において、強い意志や忍耐力、想定外のことに対応する力などが求められることとなる。

特別活動と各教科との往還について(案)

【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】

- ・ 学校、学級づくり(学校文化、学級文化の形成)
- ・ 人間関係形成能力の育成(コミュニケーションや合意形成など)
- ・ 社会参画や自己実現のために必要な力

特別活動

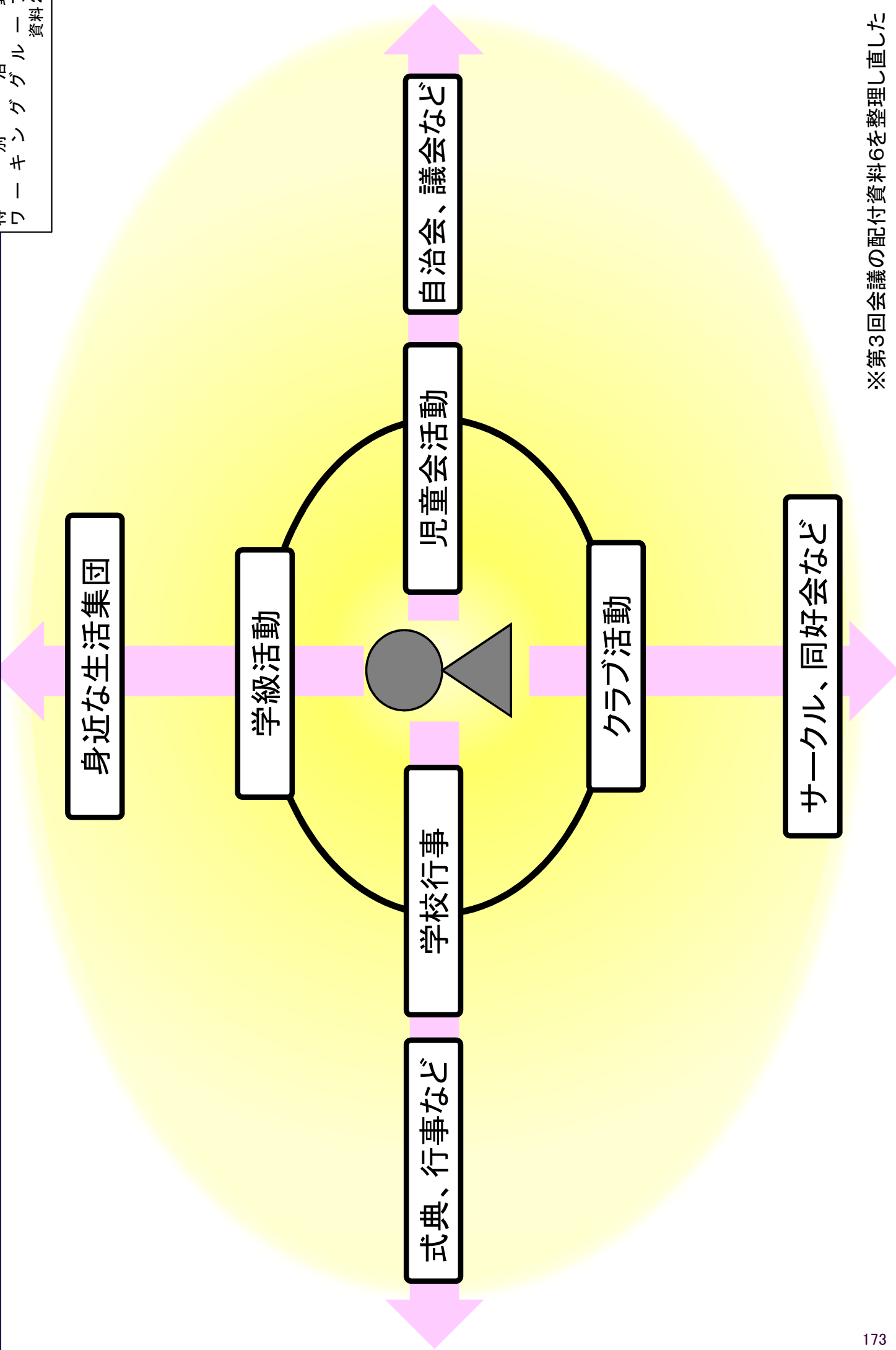
各教科等

往 還

【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】

- ・ 各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動の中で生かす
- ・ 自己の生活や進路、キャリアに学校での学びをどう生かすのかという振り返りを行う

特別活動における各活動の整理(イメージ案)



※第3回会議の配付資料6を整理し直した

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して特別活動において育成すべき資質・能力の整理

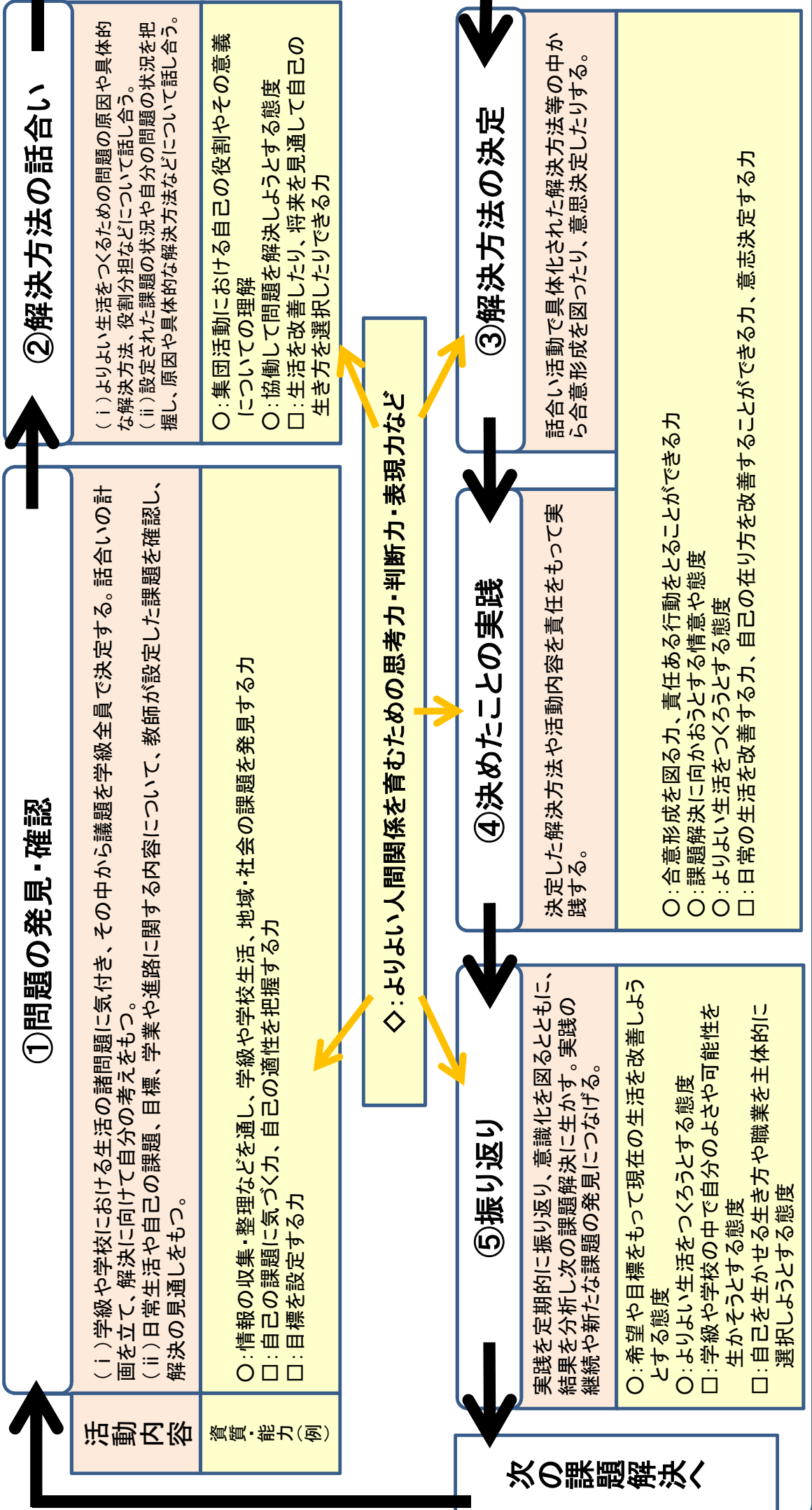
育成したい資質・能力を、「人間関係の形成」、「社会参画」、「自己実現」という視点から整理

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか) 集団の運営に関する方法や基本的な生活習慣等	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること、できることをどう使うか) よりよい集団の生活や 集団の中で自己を形成していく力等	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか) 集団の中で自己の役割や責任を 自主的・実践的に果たす態度等
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ◇人間関係の大切さ、集団や社会、多様な他者との関係の中でコミュニケーションを図る方法の知識・技能。 ○ホームルーム・学年、学校や地域・社会の形成者として、チームワークの重要性や集団活動における自分の役割やその意義についての知識・技能。 □社会規範やマナー、社会的役割や責任の必要性や意義、それに向けて今取り組むべき学習や活動の理解。 □将来設計の立案と社会的移行についての知識・技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己や価値観の違う多様な他者の価値観や個性を受け入れ、自己も生かしながら、時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーションを図ることができるなど、よりよい人間関係を築くことができる力。 ○ホームルーム・学年、学校や地域・社会の問題を見付け、合意形成を図り、自己の果たすべき役割を考え、責任ある行動をとることができる力。 □自己の能力や適性、置かれている環境を受け入れて、日常の生活や自己の在り方を改善することができる力。 □多様な情報を収集・整理し、興味・関心、自己の適性の把握などに基づき、将来を見通して自己の生き方を選択・形成することができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己や価値観の違う多様な他者の価値観や個性を受け入れ、新たな環境や人間関係を生かそうとする態度。 ○ホームルーム・学校や地域・社会の形成者として、問題を解決し、よりよい生活をつくらうとする態度。 ○ホームルーム・学校や地域・社会の形成者として、答えが一つではない課題や想定外の事態に対し、多様な他者と協働して解決しようとする態度。 □自己理解の深化や自己受容等に基づき、日常の生活や自己の在り方を主体的に改善しようとする態度。 □生きがいややりがいがあり、自己を生かせる生き方や職業を主体的に選択しようとする態度。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ◇人間関係の大切さ、集団や地域の中でコミュニケーションを図る方法の知識・技能。 ○学級・学校や地域・社会の形成者として、話し合い活動の進め方やよりよい合意形成の仕方、チームワークの重要性や集団活動における自分の役割についての知識・技能。 □学校・社会生活におけるルールやマナー及びその意義についての知識。 □将来の職業生活との関連における今の学習の必要性や意義の理解。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己や価値観の違う多様な他者の個性を理解し、自他が安心して生活できるようにコミュニケーションを図るなど、よりよい人間関係を築く力。 ○学級・学校や地域・社会の問題について把握し、合意形成を図ってよりよい解決策を決め、取り組むことができる力。 □自己のよさや個性、置かれている環境を理解し、それを生かす日常生活を改善することができる力。 □情報の収集・整理と、興味・関心、自己の適性の把握などにより、将来を見通して自己の生き方を選択・形成することができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己や価値観の違う多様な他者の個性を理解し、新たな環境や人間関係に適応しようとする態度。 ○学級・学校や地域・社会の形成者として、問題を解決し、よりよい生活をつくらうとする態度。 ○学級・学校や地域・社会の形成者として、答えが一つではない課題に対し、他者と協働して課題を解決しようとする態度。 □自己のよさや個性を生かす日常生活を主体的に改善しようとする態度。 □将来を思い描き、自分にふさわしい生き方や職業を主体的に考えようとする態度。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ◇人間関係の大切さ、集団の中でコミュニケーションを図るための方法の知識・技能。 ○学級や学校の形成者として、話し合い活動の進め方やよりよい合意形成の仕方、チームワークの重要性や集団活動における役割分担の仕方についての知識・技能。 □学校生活のきまりや基本的な生活習慣についての知識・技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇多様な他者と助け合ったり協力し合ったりして、進んでよりよい人間関係を築く力。 ○学級や学校における問題に気付き、解決方法などを話し合ったり決め、自己の役割や責任を進んで果たすことができる力。 □自己の課題に気付き、生活を改善したり活動したりすることができ力。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇活動の目標を設定し、協力し合って達成しようとする態度。 ○学級・学校の形成者として、よりよい学級・学校生活をつくらうしたり、希望や目標をもって現在の生活を改善したりしようとする態度。 ○学級・学校の形成者として、多様な他者の意見を尊重し、進んで合意形成を図ろうとする態度。 □学校生活の中で自分のよさや可能性を生かそうとする態度。

よりよい学級・学校生活づくりや人間関係の形成が、教育課程全体におけるアクティブ・ラーニングの視点を支える

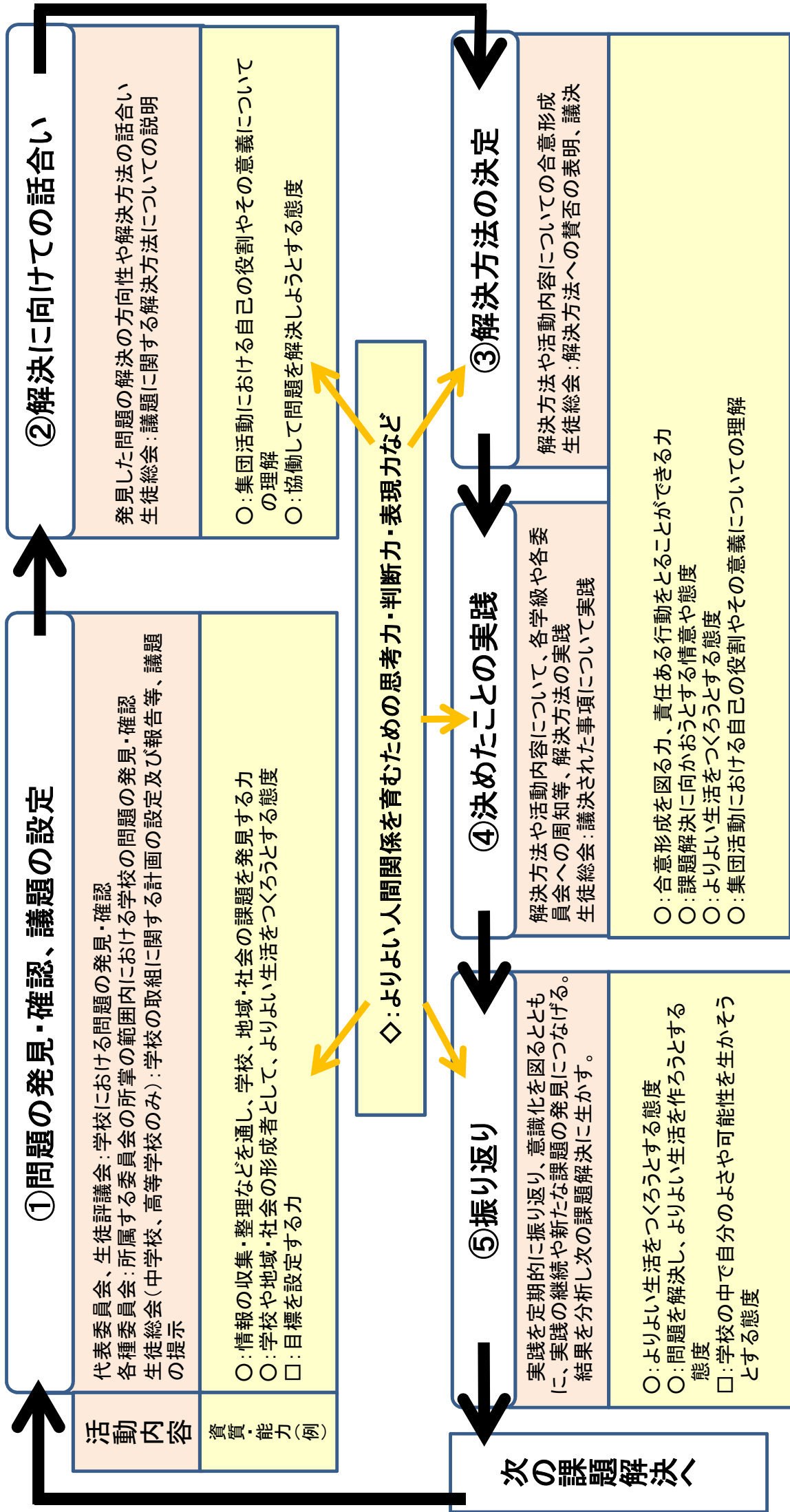
特別活動における各活動の意義や役割(学級(ホームルーム)活動)(案)

学級(ホームルーム)活動

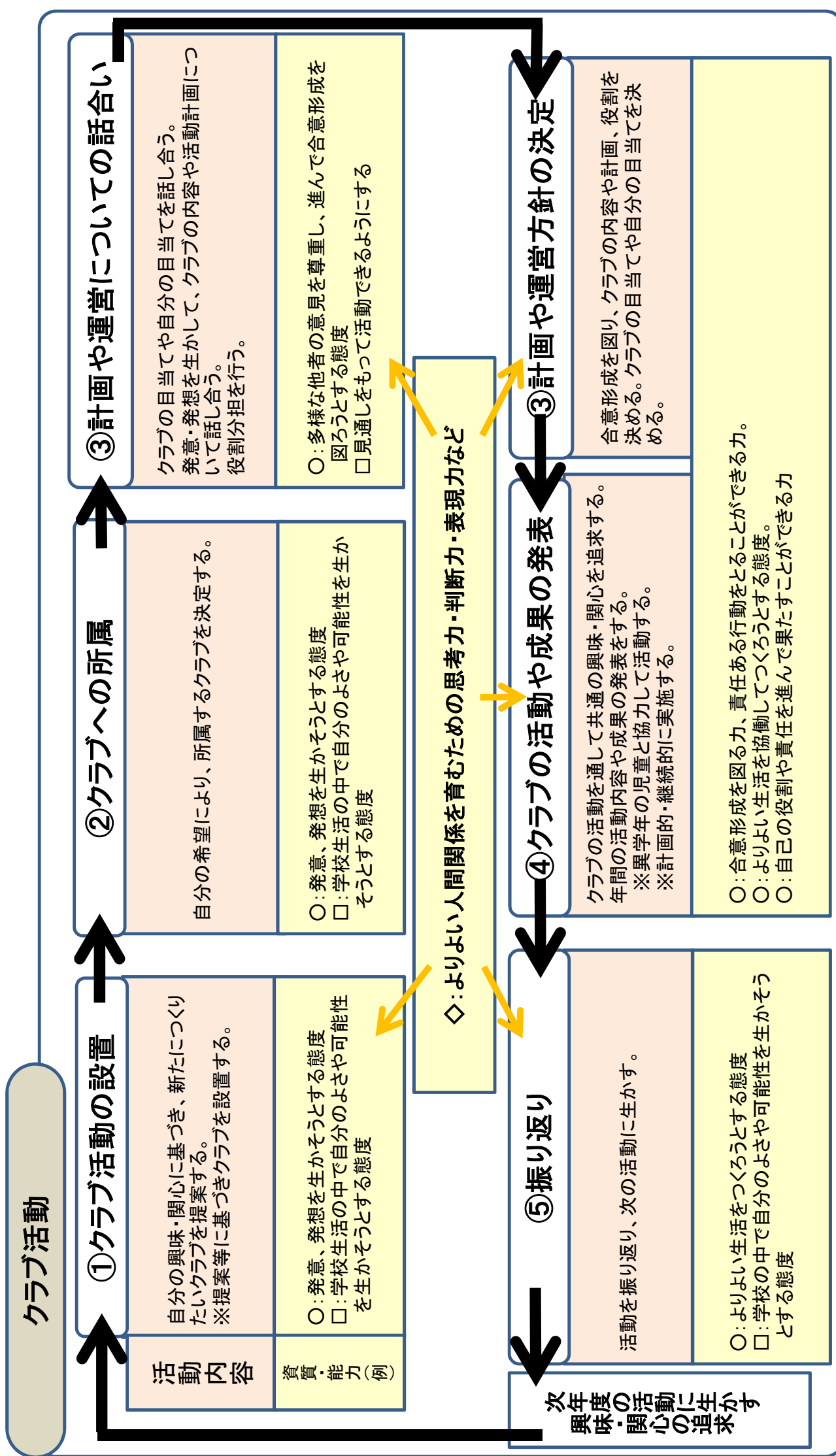


特別活動における各活動の意義や役割(児童(生徒)会活動)(案)

児童会(生徒会)活動

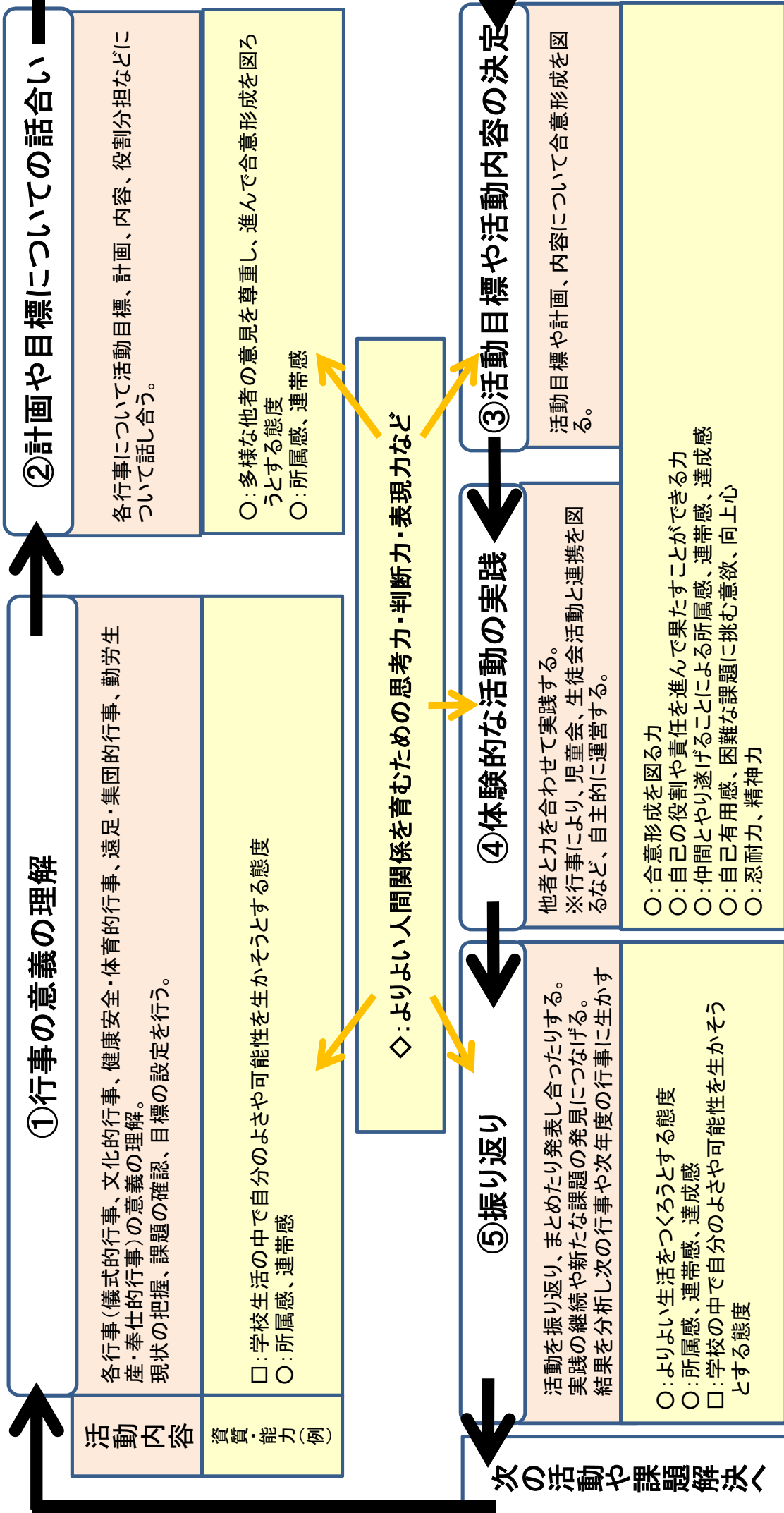


特別活動における各活動の意義や役割(クラブ活動)(案)



特別活動における各活動の意義や役割(学校行事)(案)

学校行事



資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通して キャリア教育において育成すべき資質・能力の整理

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか)
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 進んでよりよい人間関係を築く力など、他者の考えや個性を知り、相手の意見を聴いて自分の考えを伝えるための知識・技能 ● 自分らしさの理解など、自身のよさを知り、自分らしい言葉や行動を選ぶための知識・技能 ● 必要な情報を探し、選ぶ力など、役割を果たすために課題を発見・解決するための知識・技能 ● 学ぶこと・働くことの大切さの理解、様々な生き方の理解など、自らが果たすべき役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ● チームワーク、リーダーシップなど、自他のよさや個性を理解し、他者と協力・協働して社会に参加する力 ● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力 ● 必要な情報を整理する力、ものごとを計画的に進める力など、課題を発見し、計画を立て、解決することができる力 ● 夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得など、主体的に将来の自分を思い描き、自らキャリアを形成していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学級や学校の生活づくりに進んで参加しようとする態度 ● 自分のすべきこと、よいと思うことを考え、取り組みようとする態度 ● 計画・実行・評価・改善など、失敗を恐れずに最後までやり通そうとする態度 ● 自分にふさわしい生き方を主体的に考えようとする態度
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーション・スキルなど、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えるための知識・技能 ● 自己の肯定的理解、ストレスマネジメントなど、今後の自分自身の可能性を含めて肯定的に自己の役割を理解し、自らの思考や感情を律するための知識・技能 ● 情報の理解・選択、本質の理解、原因の追究など、仕事を上での様々な課題を発見・分析するための知識・技能 ● 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、生き方の多様性の理解・受容など、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ● チームワーク、リーダーシップなど、自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参加する力 ● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力 ● 情報の処理、計画立案、実行力など、課題を発見し、計画を立て、解決することができる力 ● 将来に関わる暫定的な計画の立案など、生き方に関する様々な情報を適切に処理しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会に積極的に参加しようとする態度 ● 意欲、主体性、忍耐力など、前向きに考え今後の成長のために進んで学ぼうとする態度 ● 計画・実行・評価・改善など、粘り強く物事を前に進めていこうとする態度 ● 主体的に判断して自らキャリアを思い描こうとする態度
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ● 時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーション・スキルなど、多様な他者の考えや立場を受容し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えるための知識・技能 ● 自己の肯定的理解、ストレスマネジメントなど、今後の自分自身の可能性を含めて肯定的に自己の役割を理解し、自らの思考や感情を律するための知識・技能 ● 多様な情報の理解・選択、本質の理解、原因の追究など、仕事を上での様々な課題を発見・分析するための知識・技能 ● 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、社会的移行への準備、生き方の多様性の理解・受容など、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」の意義を理解するための知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者に働きかける力、チームワーク、リーダーシップなど、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画する力 ● 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ主体的に行動する力 ● 多様な情報の処理、計画立案、実行力など、適切な計画を立てて課題を処理し、解決することができる力 ● 将来に関わる計画に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要があれば自ら新たな社会を創造・構築していくことを含め、今後の社会を積極的に形成しようとする態度 ● 自己の動機づけ、主体性、忍耐力など、前向きに考え今後の成長のために進んで学ぼうとする態度 ● 計画・実行・評価・改善など、従来の考え方や方法にとらわれずに物事を前に進めていこうとする態度 ● 主体的に判断して生涯にわたってキャリアを自ら形成していくこととする態度

学校教育全体を通じて行われる教育

学校内での学びと、その学びにリアリティーを持たせる実社会での体験活動（職場体験、インターンシップなど）との往還を重視

産業教育ワーキンググループにおける検討事項

1. 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力について

- ・ 三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界とかがわり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
- ・ 職業に関する各教科において育成すべき資質・能力と指導内容との関係について
- ・ 職業に関する各教科の科目構成について

2. これまでの実験・実習などの実践的、体験的な学習活動の成果やアクティブ・ラーニングの三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき指導等の改善充実の在り方について

(三つの視点)

- i) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
- ii) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- iii) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

3. 国家資格や各種検定、研究発表会や競技会等の活用を含めた、資質・能力の育成のために重視すべき評価の在り方について

4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

※ なお、検討を進めるにあたっては、専門分野ごとに求められる資質・能力を産業界や関係団体等との間で共有化しながら、以下の事項にも留意する。

- ①職業人として求められる専門的な知識及び技術の高度化や、職業の多様化への対応
- ②社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観等の醸成、豊かな人間性の涵養
- ③地域や産業界との連携・交流を通じた、地域の産業や社会を担う人材の育成

産業教育のイメージ(案)

(高等学校専攻科)

※高等学校若しくはこれに準ずる学校等を卒業した者等に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置される課程(修業年限1年以上)。

【高等学校】 (産業教育)

- ① 各職業分野で求められる基礎的・基本的な知識や技術や技術を習得させるとともに、各職業の社会的意義や役割を理解させる。
- ② 各職業分野に関わる課題(職業能力の専門性の深化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応)に対して、職業人としての倫理観をもって、主体的・協働的に取り組み、合理的かつ創造的に解決する能力を育成する。
- ③ 産業・社会を支える職業人として必要な豊かな人間性、産業の振興や社会に貢献しようとする態度及び社会の変化に対応して学び続ける態度を育成する。

(共通教科)

- 家庭や個人の生活上等の課題の解決に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
(家庭科、公民科、情報科、保健体育科 等)
- 職業において共通に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
(全ての教科)

【義務教育】

- 家庭や個人の生活上等の課題の解決に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
(生活科、理科、社会科、家庭科、技術・家庭科、保健体育科 等)
- 職業において共通に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
(全ての教科)



多様な評価手法



高等学校基礎学力
テスト(仮称)



全国学力・学習状況調査

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
産業教育 全体	<ul style="list-style-type: none"> 各職業分野で求められる基礎的・基本的な知識や技術 各職業の社会的意義や役割の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 各職業分野に関わる課題に対して、職業人としての倫理観をもって、主体的・協働的に取り組み、合理的かつ創造的に解決する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 産業・社会を支える職業人として必要な豊かな人間性 産業の振興や社会に貢献しようとする態度 社会の変化に対応して学び続ける態度

(*)身に付けた知識・技術の活用や、探究する際の視点の例(教科等の本質に根ざした見方や考え方等)

- 産業・社会の課題について関係する人との対話や、物・事象等の観察により課題を多面的に把握する。
- 地域・企業等との連携を深め、協議やシミュレーション、実験・実習等を行い、より良い解決方法を探究する。
- 関係する法令等を遵守するとともに、職業人として果たすべき役割や責任を踏まえ、解決策を決定する。
- 課題解決の過程においては、科学的原理、経済性、社会資源及び環境への影響等を踏まえ、人々の健康や快適な生活の実現、社会の発展に寄与する生産物や製品、サービスを工夫・創造する。

【参考】教育課程企画特別部会 論点整理(平成27年8月26日)・参考資料(検討中)

